

令和 5 年 3 月 20 日  
国土交通省関東地方整備局  
利根川水系砂防事務所

## 工事発注手続きについて

～「R 5 万場地区砂防堰堤群工用道路工事」の発注手続きを行います～

本工事において、受注者が工事着手前に自主的に建設キャリアアップシステム（CCUS）の活用の取組を希望した場合は、指標毎の目標基準の達成状況に応じて工事成績評定点に加点を行います。併せて不調・不落対策等を試行・採用します。

工事発注において、入札参加者がいないことなどを理由として、入札の取りやめや不調が予測される工事について、不調・不落対策に取り組んでいます。

今回発注する「R 5 万場地区砂防堰堤群工用道路工事」については、試行的な取組みの他、以下のとおり不調・不落対策等を試行及び採用します。

### 【不調・不落対策等】

1. 公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）地域防災実績評価型
2. 競争参加資格の緩和
3. 施工箇所が点在する工事の積算
4. 余裕期間制度（フレックス方式）
5. 難工事指定

### 【試行的な取組み】

CCUS 活用工事（受注者希望方式）

※詳細は次頁をご覧ください。

<発表記者クラブ> 竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、刀水クラブ・テレビ記者会、  
渋川記者クラブ

<問い合わせ先>

関東地方整備局 利根川水系砂防事務所

電話 0279-22-4177（代表） FAX：0279-24-4184

副所長 小島 宏一（内線：204）

工務課長 野村 利幸（内線：311）

《工事概要》

- (1) 工事名 : R5万場地区砂防堰堤群工事用道路工事
- (2) 工事場所 : 群馬県上野村檜原地先及び神流町生利地先
- (3) 工期 : 契約締結の翌日から令和6年3月22日まで
- (4) 入札方式 : 公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）
- (5) 工事種別 : 一般土木工事 C等級
- (6) 工事内容 : 1. 管理用道路工事（檜原地区）

- 道路土工 一式
- 擁壁工 約180m<sup>2</sup>
- 舗装工（コンクリート舗装他） 約570m<sup>2</sup>
- 排水構造物工 一式
- 構造物撤去工（大型土のう） 約1000袋
- 大型かご枠 約500m

2. 工事用道路工事（生利地区）

- 道路土工 一式
- 法面工（吹付枠） 約400m<sup>2</sup>
- 舗装工 約1100m<sup>2</sup>
- 排水構造物工 一式

概略工事工程表

工事名：R5万場地区砂防堰堤群工事用道路工事

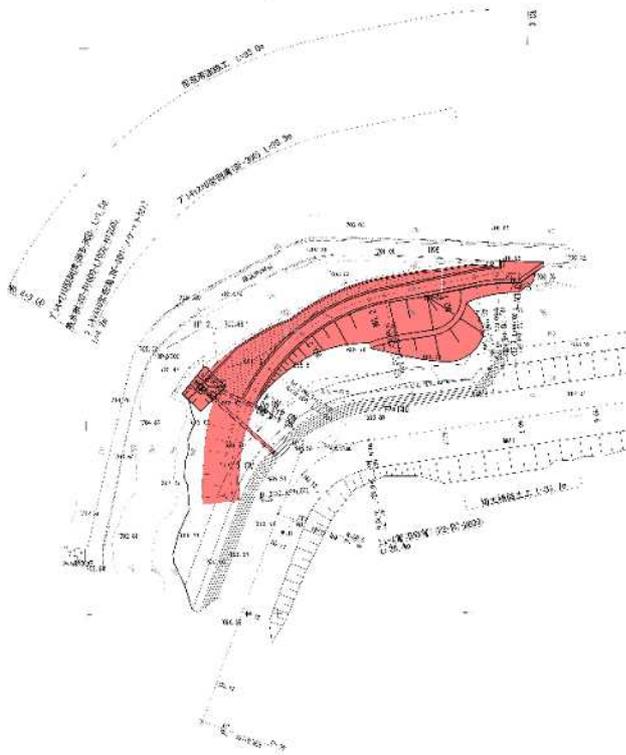
工種	単位	数量	令和5年度												備考 (パーティ(pt)数等)		
			5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
余裕期間	式	1															
準備	式	1		■	■												・40日間
管理用道路(檜原地区)	式	1															
道路土工	式	1				■											・作業土工(1pt)
擁壁工	式	1					■	■	■	■	■						・擁壁工(1pt)
舗装工	式	1									■	■	■				・排水構造物(1pt) ・舗装工(1pt)
構造物撤去工	式	1			■												・構造物撤去工(1pt)
流路工	式	1											■	■			・大型かご枠(1pt)
管理用道路(生利地区)	式	1															
道路土工	式	1						■	■	■							・作業土工(1pt)
法面工	式	1								■	■	■	■				・法面工(1pt)
舗装工	式	1											■	■	■		・排水構造物(1pt) ・舗装工(1pt)
片付け	式	1													■	■	・20日間
制約条件	関連工事(前工事)	-															
	関係機関協議	-															
	住民合意	-															
	用地確保	-															生利地区(9月中旬)
	法定手続き	-															
	支障物件の移設	-															
	年末年始、お盆	-															・8月中旬 ・12月下旬～1月上旬
	出水期間	-															
路上工事抑制	-																

この「見積参考資料」は入札参加者の適切かつ迅速な見積に資するための資料であり、契約書第1条にいう設計図書ではない。従って、「見積参考資料」は請負契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は、施工条件、地質条件等を充分考慮して、仮設、施工方法、安全対策等、工事目的物を完成するための一切の手段について受注者の責任において定めるものとする。  
 なお、この「見積参考資料」の有効期間は、この工事の入札日までとする。

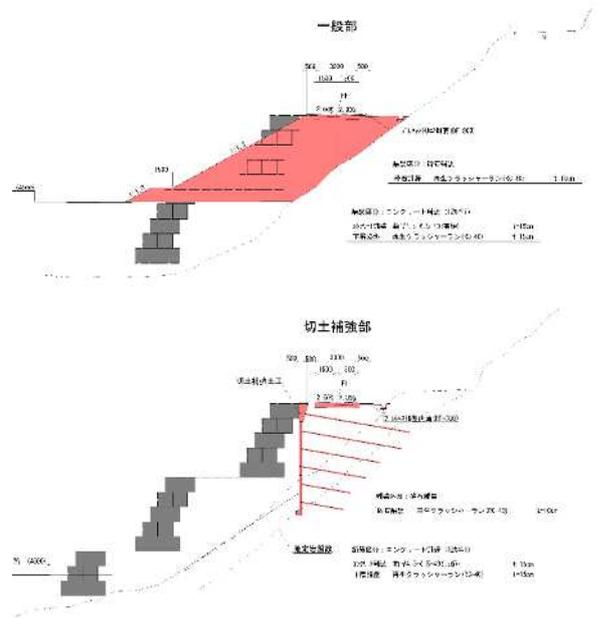


1. 管理用道路工事 (檜原地区)

管理用道路平面図 S=1:500  
檜原地区

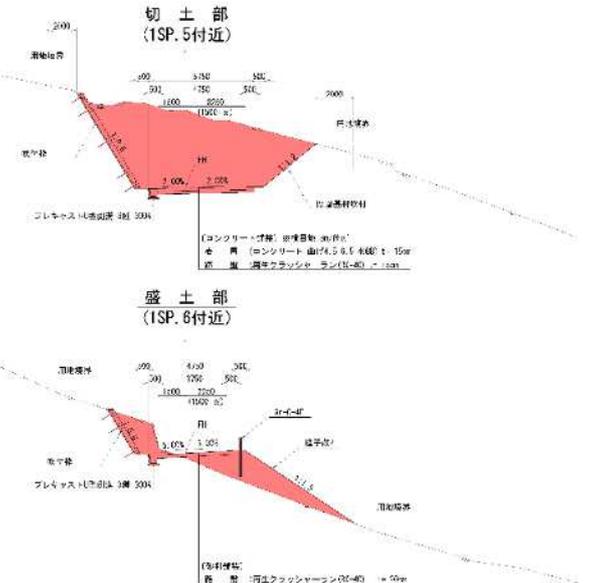
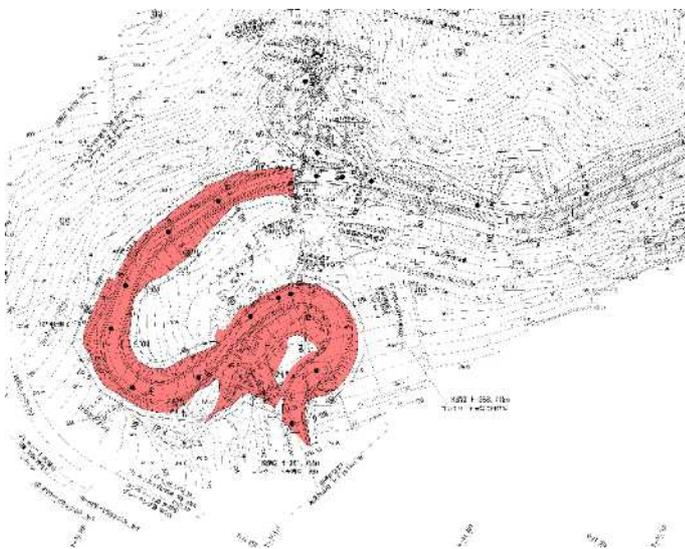


管理用道路標準横断面図 S=1:100  
檜原地区



2. 工事用道路工事 (生利地区)

標準横断面図 S=1:100  
生利地区



## 《不調・不落対策等》

### 1. 公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）地域防災実績評価型

競争参加者が少数と見込まれ、技術難易度が比較的低い工事について、対象工事ごとに技術資料収集に係る公示資料の交付を受けて、競争参加希望者が参加表明確認申請書及び技術資料（参加要件は企業のみとして技術者要件を求めない。）を提出し、指名基準による選定を行い、指名された競争参加希望者により総合評価落札方式で落札者を決定するものです。なお、総合評価は、災害活動実績及び賃上げの実施を加算点としています。

### 2. 競争参加資格の緩和

企業に求める施工実績を「砂防工事に」に限定せず、「道路改良工事」として緩和をします。

### 3. 施工箇所が点在する工事の積算

施工箇所が点在する工事について、建設機械を運搬する費用がそれぞれの箇所で発生するなど、積算額と実際にかかる費用に乖離が考えられることから、箇所毎に共通仮設費、現場管理費の算出を行う「施工箇所が点在する工事の積算」を採用します。

本工事の地区は、群馬県上野村檜原地先、神流町生利地先です。

### 4. 余裕期間制度（フレックス方式）

本工事は、受注者の円滑な工事施工体制の確保を図るため、事前に建設資材、労働者確保の準備を行うことができる余裕期間制度を採用します。契約時に令和6年3月22日までの間で受注者は工事の始期・終期を任意に設定することができます。監理技術者等の配置が不要となります。また、現場施工に着手するまでの期間（現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間）についても、監理技術者等の配置が不要となります。

### 5. 難工事指定

本工事は、山間部における急峻で狭隘な箇所での施工となるため、厳しい安全管理が必要であるため、「難工事」の指定を実施します。

「難工事」指定された工事は、完成時に70点以上の工事成績評定を通知された場合、今後発注される「難工事施工実績評価対象工事（試行）」の総合評価の評価項目において加点対象となります。また、加点対象となる期間は、審査基準日の月以前の1年間に元請けとして、完成・引き渡し完了した施工実績が加点対象となります。

また、主任（監理）技術者または現場代理人として従事した経験について、審査基準日の月以前の4年間を評価対象となります。

## 《スケジュール》

○入札公示、入札説明書 交付	：令和5年 3月20日（月）
○競争参加資格確認申請書、資料 提出期限	：令和5年 3月30日（木）
○入札書・工事費内訳書 提出期限	：令和5年 5月 8日（月）
○開札日	：令和5年 5月11日（木）

## 1. 試行内容

受注者が工事着手前に自主的に建設キャリアアップシステム（CCUS）の活用に取り組む旨を希望した場合は、下表のとおり3つの指標（以下、「3指標」という）の最低基準及び目標基準を指定し、指標の取り組みの達成状況に応じて工事成績評点において加点を行います。

指標	最低基準	目標基準
平均登録事業者率	70%	90%
平均登録技能者率	60%	80%
平均就業履歴蓄積率	30%	50%

## 2. 施工段階

受注者が工事着手前に自主的にCCUSの活用に取り組む旨を希望した場合は、特記仕様書に定めた時期に、受注者から3指標の取り組み状況の報告を求めます。

## 3. 工事成績評定（工事完成検査／成績評定時）

受注者が工事着手前に自主的にCCUSの活用に取り組む旨を希望した場合は、下記のとおり3指標の達成状況に応じて工事成績評点で加点を行います。

- ① 受注者が3指標全てにおいて目標基準を達成した場合は1点加点  
⇒ 考査項目別運用表 「5. 創意工夫」「その他」で加点
- ② 上記①に加え、平均登録技能者率90%以上を達成した場合は同考査項目でさらに1点加点（①と②で合計2点加点）

なお、受注者が3指標いずれかにおいて最低基準を達成しなかった場合は、工事完成検査終了後に受注者から工事名、未達成の項目、要因及び改善策の報告を求めます。

※3指標の最低基準及び目標基準、工事成績評定は、「CCUS活用推奨モデル工事」と同様です。

## 4. 積算方法

カードリーダー設置費用、現場利用料（カードタッチ費用）を支出実績に基づき設計変更で費用計上する。

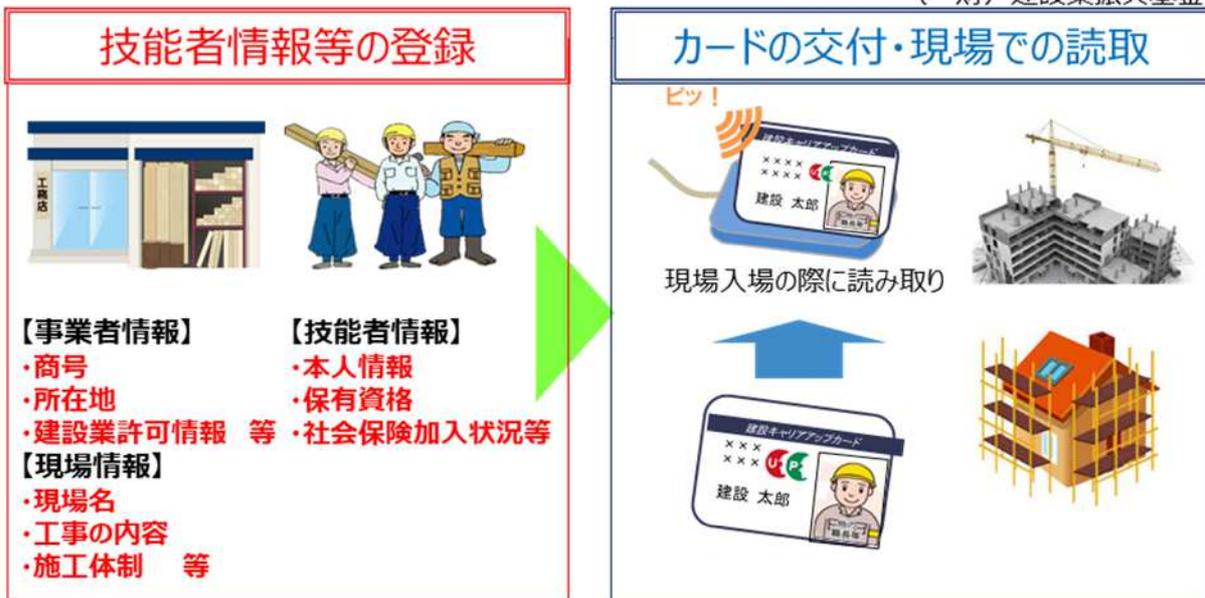


# 建設キャリアアップシステムの概要

- 「建設キャリアアップシステム」は、技能者の資格、社会保険加入状況、現場の就業履歴等を業界横断的に登録・蓄積する仕組み
- 若い世代にキャリアパスと処遇の見通しを示し、技能と経験に応じ給与を引き上げ、将来にわたって建設業の担い手を確保し、ひいては、建設産業全体の価格交渉力を向上させるもの
- また、労務単価の引き上げや社会保険加入の徹底といった、これまでの技能者の処遇改善の取組をさらに加速させるもの

## <建設キャリアアップシステムの概要>

※システム運営主体  
(一財) 建設業振興基金



# 公募型指名競争入札方式(総合評価落札方式)の試行について

対象は  
一般土木  
C,B+C工事  
維持修繕等

- 【メリット】
- ✓ 施工体制確保→発注工事の公募
  - ✓ 資料は参加希望の意思確認時のみの提出  
→資料の簡素化、合理化(個別発注時では不要)
  - ✓ 手続期間の短縮  
→指名通知から決定まで2週間程度
  - ✓ **指名競争・総合評価落札方式**  
→災害協定の締結や活動に係るインセンティブの向上

**公示**  
(工事内容・入札時期・落札方式等)



工事参加希望の意思確認・技術資料の提出  
(参加意思表明申請書+必要資料の提出)

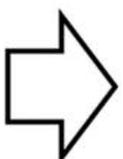


参加要件は企業とし、  
技術者要件は求めない

指名基準による選定



発注(指名通知)  
以降は指名競争・総合評価  
落札方式の手続き



指名競争・総合評価落札方式により落札決定

(標準点100点+加算点(11点)+施工体制  
評価点(30点))÷入札価格=評価値  
※加算点は災害活動実績+賃上げの実施  
に関する評価

公募による企業の参加

公募結果に基づく指名

災害協定の締結や活動に  
係るインセンティブの向上